



発表項目	北方型住宅の新基準「北方型住宅2020」について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>道が取組を進めている、北国の気候風土に根ざした質の高い住宅である「北方型住宅」について、住宅ニーズ等の変化を踏まえ、基準を見直すこととし、「北方型住宅2020」を定めました。</p> <p>1 現状・課題</p> <p>(1) 住宅建設事業者の減少 現状：地域の住宅づくりの担い手である地域工務店が減少 課題：地域工務店の競争力強化・住宅生産体制の維持</p> <p>(2) 住宅の性能に対するニーズの変化 現状：胆振東部地震など大規模地震の頻発 建築物省エネ法（H25年制定、R元最終改正） 課題：耐震化や低炭素化に対応した住まいづくりの推進</p> <p>2 北方型住宅2020について（詳細は別紙1） 北方型住宅は従来から総合的な住宅性能等基準と建設時及び維持保全のルールを定めていたが、耐震性能、断熱性能及び一次エネルギー消費量の基準を強化</p> <p>3 今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費者向け周知啓発イベント、事業者向け技術講習会の開催 地域材の活用など地域の特色を活かした「地域型住宅」を道がブランド住宅として登録・普及 住宅展示場「きた住まいるヴィレッジ」の全道展開（詳細は別紙2） 		
参考			

報道（取材） に当たっての お願い	「北方型住宅」を道民の皆様幅広く知っていただくため、積極的な報道をお願いします。		
他のクラブ との関係	同時配付 同時レク	(場所)	

担 当 (連絡先)	建設部住宅局建築指導課建築企画グループ 主幹 渡邊 純一 TEL 011-204-5577 (直通) (内線29-453)		
-----------------	--	--	--

「北方型住宅2020」の概要

・北方型住宅2020は、断熱性能や耐震性能だけでなく、災害にも強く、快適で長く住み続けるために必要な性能を備えた総合的に優れた住宅
 ・4つの基本性能と3つのしくみにより、安全・安心で、地域の気候風土に根ざした豊かな暮らしが実現

「北方型住宅2020」の概要

—4つの基本性能と3つのしくみ—

赤字：基準の見直し箇所

長寿命



ライフステージの変化、居住者の変化にも対応し、
 世代を超えて引き継がれる
 高い耐久性と耐用性を持つ住宅

[主な基準]

耐震等級2/劣化対策等級3/維持管理等級3
 適切な維持保全/外装の耐久性/間取り変更対応
 など

4つの基本性能



地域らしさ



地域の景観に配慮し、地域材、地場産業
 を積極的に活用することで、
 日々の暮らしの中で地域らしさを育む住宅

[主な基準]

地域の気候風土を活かした設計/道産材の活用
 市町村施策への適合に配慮/外壁後退
 美しいまちなみ形成への配慮 など

安心・健康



災害に強く、だれでも安全で健康に
 過ごすことのできる、
 暮らしを守る器としての住宅

[主な基準]

(自然災害への対応)

冬期の自宅避難のため

無暖房でも一定室温確保

建物内での避難経路確保、

落下物の防止に配慮(推奨)

など

(高齢者等対応)

高齢者等への配慮など

(健康・快適)

ホルム対策等級3

適切な換気量・全室暖房

日射遮蔽・通風確保

環境との共生



地域の気候風土に配慮し、活かすことで
 環境負荷を低減し、
 持続可能な社会と暮らしを支える住宅

[主な基準]

UA値=0.34以下

省エネ(BEI=0.8以下)

C値=1.0以下/敷地内の雪処理に配慮

美しいまちなみ形成への配慮

環境負荷低減 など

3つのしくみ(建設時及び維持保全のルール)

北海道がおススメする優良な住宅事業者

きた住まいるメンバーによる設計・施工



BIS資格者による設計・施工

確かな設計・施工を持つ
 事業者による家づく技術。



住宅履歴の保管

「きた住まいるサポートシステム」で住まいの
 情報を保管し、リフォームや住み替えに活用。



住宅性能の見える化

住宅性能だけでなく、
 施工者の情報も見える化。



別紙1

北方型住宅2020の基準の概要

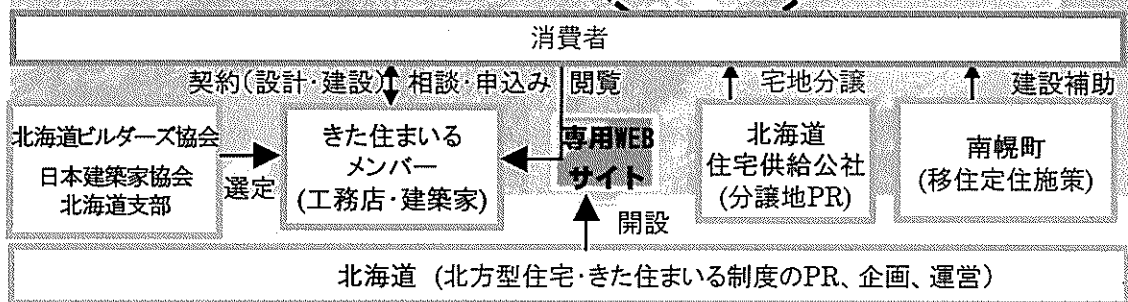
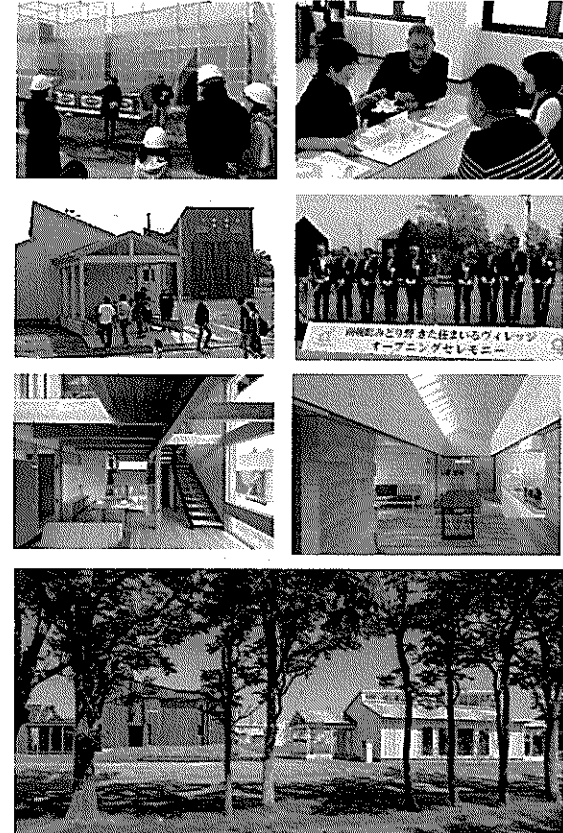
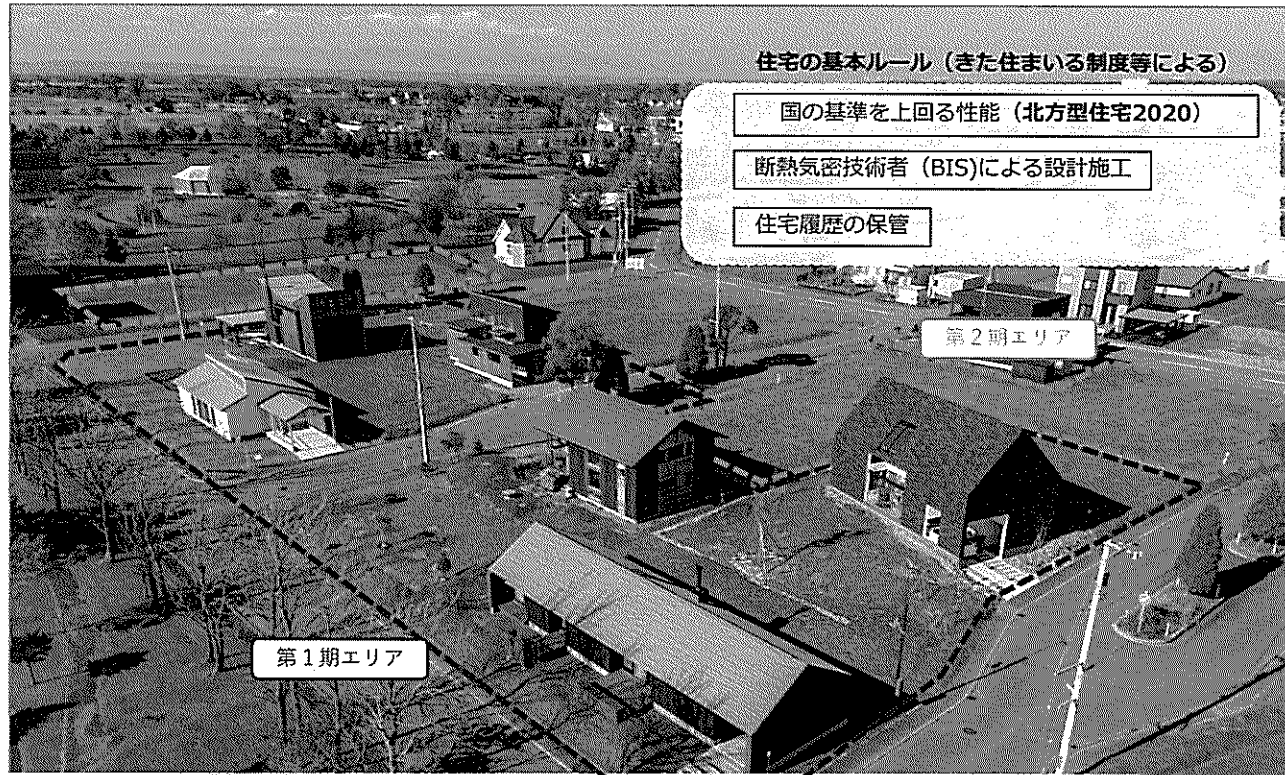
項目			北方型住宅 2020	関連する国の制度		現行基準 北方型住宅(H17～) 北方型住宅ECO(H22～)	
				長期優良住宅認定 (H21～)	省エネ基準 (H28～)		
住宅の 性能等 基準	耐震性能	地震に対する倒壊や 損傷しにくさ	建築基準法の基準の 1.25 倍の耐震性(等級2)	等級2	基準の強化	建築基準法の基準 の耐震性(等級1)	
	劣化対策	メンテナンスしつづつ何 年まで生活できるか	3世代以上:75～90年 (等級3)	等級3		規定なし	3世代以上:75～90年 (等級3)
	維持管理対策	給配水管等の点検・ 補修のしやすさ	点検口や掃除口の設置等 (等級3)	等級3			点検口や掃除口の設置等 (等級3)
	高齢者配慮	自立、介助において の余裕の程度	車いす使用者に対する 基本的配慮等(等級3)	規定なし	規定なし	車いす使用者に対する 基本的配慮等(等級3)	
	断熱性能 (UA値)	壁や天井などの断熱 性能	0.34 以下 (低いほど高性能)	0.46～0.56 基準の強化		0.46 以下(北方型) 0.38 以下(ECO)	
	一次エネルギー 消費量	暖房、照明などの消 費エネルギー量	基準値より20%以上削減 (削減率が高いほど高性能)	規定なし	基準値以下 基準の強化	基準値以下 (H29～)	
	気密性能 (C値)	天井や壁の隙間の少 なさ	1cm ² /m ² 以下 (低いほど高性能)	規定なし	規定なし	2cm ² /m ² 以下(北方型) 1cm ² /m ² 以下(ECO)	
建設時 及び 維持保 全の ルール	専門技術者 の関与	断熱・気密に係る設 計施工の品質確保	有資格者(BIS 資格)の関与	規定なし	規定なし	有資格者(BIS 資格)の関与	
	住宅性能の 見える化	住宅の性能等を消費 者にわかりやすく表示	住宅ラベリングシートの発行	規定なし		住宅ラベリングシートの発行 (H29～)	
	住宅履歴情 報の保管	設計図書や工事の記 録を長期保管	きた住まいるサポートシステム への保管	保管義務		きた住まいるサポートシステム への保管(H29 名称変更)	

等級:「住宅の品質確保の促進等に関する法律」に基づく住宅性能表示制度における等級。

南幌町みどり野きた住まいるヴィレッジ(官民連携による住宅展示場プロジェクト)

【目的】

良質な住宅を安心して取得できる環境づくりを目指して北海道が登録を進める「きた住まいるメンバー」である**地域工務店**と**建築家**がグループを組み高い技術力やデザイン力を広くPRするとともに地域の気候風土などへの配慮や豊かな暮らしを提案し、**定住の促進**、**地域を支える住宅生産体制の整備**を図る。



2018.6～ 開設
モデルハウス6棟を展示、道内外から約3000人が来場。

2019.8～2期始動
2期が始動。注文住宅7棟の住まい手を募集中。

南幌でのノウハウを活かして他地域に展開